

## 被服学分野

【学士力の考察】（修正が無いため省略）

【到達目標 1】（到達目標、解説、到達度②の下線部分を修正）

1. 被服の歴史・文化や被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用などによるイメージを思考することができる。

ここでは、被服が持つ多様な役割を理解させるため、科学的、社会的、保健衛生的観点から総合的に考察する能力を身につけさせねばならない。そのためは、被服の歴史や文化的背景を理解させた上で、自己表現や他者との関係の調和、精神的なやすらぎなどを総合的に捉えられることを目指す。

【到達度】

- ② 被服の着用イメージや感性の表現ができる基礎能力を身につけている。

【到達目標 2】（コア・カリキュラムのイメージ、到達度①と②、測定方法①と②の下線部分を修正）

2. 人体を把握し、人体と被服との関係や被服構造を知り、被服の構成力を身につけ被服パターン設計に活用できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

被服構成学、被服人間工学、被服衛生学、パターン設計、縫製など

【到達度】

- ① 被服構成の基礎を理解して、被服設計ができる。
- ② 人体の構造と機能を理解して、被服形態との関連を説明し、機能評価ができる。

【測定方法】

- ①は、筆記試験及び実技試験などにより確認する。
- ②は、レポート、筆記試験などにより確認する。

【到達目標 3】（修正が無いため省略）

【到達目標 4】（修正が無いため省略）

【到達目標 5】（到達目標の下線部分を修正）

5. 被服の生産、流通、消費における環境問題などを理解し、未来に向けたより質の高い衣生活を提案できる。

## 体育学分野